

公 表 日
令和 5 年 3 月 1 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	耶馬溪ダム弾力的運用可能性検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 山国川河川事務所長 中元 道男 中津市大字高瀬 1 8 5 1 - 2
契約年月日	令和 5 年 3 月 1 日
契約業者名	(株) 建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名 2 - 4 - 1 2
契 約 金 額	9, 9 9 9, 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	9, 9 9 9, 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙契約理由書のとおり
業 務 場 所	大分県中津市耶馬溪町柿坂地先
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間 (自)	令和 5 年 3 月 2 日
履行期間 (至)	令和 5 年 9 月 2 9 日
備考	入札情報サービス (P P I) (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

契約理由書

1. 業務件名 耶馬溪ダム弾力的運用可能性検討業務
2. 履行場所 大分県中津市耶馬溪町柿坂地先
3. 契約の相手方 会 社 名：株式会社建設技術研究所 九州支社
住 所：福岡市中央区大名 2－4－1 2
代表電話：(0 9 2) 7 1 4－2 2 1 1

4. 契約適用法令：会計法第 2 9 条の 3 第 4 項及び
予算決算及び会計令第 1 0 2 条の 4 第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、耶馬溪ダムの通常運用水位 EL. 161. 2m 以上を利水として活用の可能性を検討するとともに、貯水池運用シミュレーション計算を行い、活用可能容量の利水効果を検討することにより、弾力的運用の可能性を検討することを目的とする。

2) 業務の内容

- ・計画準備
- ・活用可能容量の検討
- ・利水計算モデルの更新・検討
- ・活用可能容量の利水効果検討
- ・弾力的運用の課題の整理
- ・報告書作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低 3 4 者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を 2 2 者が入手（ダウンロード）し、3 者から参加表明書が提出され、3 者が参加資格を有していた。

参加資格を有する 3 者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、実施方針及び評価テーマ【耶馬溪ダムにおける活用可能容量や活用期間の設定、活用効果にあたっての留意点について】に対する技術提案において、総合的に優れた提案を行ったものである。

よって、会計法第 2 9 条の 3 第 4 項及び予算決算及び会計令第 1 0 2 条の 4 第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

山国川河川事務所 ダム管理課長